

令和7年度 腰痛予防研修開催要項

1. 目的

介護テクノロジーを適切に活用することで利用者自身の自立を引き出し、介護職員の身体に負担の少ない介護技術を習得し、施設内職員の腰痛予防の普及・推進を図る。

2. 本研修の到達目標

- 1) 介護現場での腰痛予防対策推進の必要性が理解できる。
- 2) 介護テクノロジーを用いた介護技術を習得し、安全に実施できる。

3. 実施主体 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ

とやま介護テクノロジー普及・推進センター

4. 開催日時

	Aコース	Bコース
1日目	5月28日(水) 9:20~16:30	6月9日(月) 9:20~16:30
2日目	5月29日(木) 9:00~16:00	6月10日(火) 9:00~16:00

5. 開催場所 富山県総合福祉会館 (サンシップとやま) 2階 研修室

6. 研修内容 別紙 日程表のとおり

7. 参加条件

「利用者の自立支援、職員の身体への負担軽減を図り、双方に喜ばれる職場環境づくりを目指したい」、「介護テクノロジーを活用し、介護職員の腰痛緩和を図りたい」等、腰痛予防対策を進めたい施設の職員等で、下記の1)～3)のいずれかに該当する者。

- 1) 施設経営者及び管理者(1日目のみ受講可能)
- 2) 施設内で腰痛予防推進リーダーの役割を期待されている理学療法士・作業療法士・介護福祉士・看護師等
- 3) 腰痛予防指導者育成研修受講希望者

※ 本研修の修了者は、「腰痛予防指導者育成研修」受講対象者となる。

※ 腰痛予防対策を強化される施設においては、多職種による複数名での受講が望ましい。

8. 募集定員 各コース 30名

9. 受講料 4,000円(1日目のみ受講の場合は2,000円)

10. 申込方法 下記QRコードよりお申込みください。締め切りは、4月30日(水)とします。



11. その他

- 1) 受講者には、5月13日(火)頃に施設長あてに受講決定通知を郵送いたします。
- 2) 下記の書籍を研修テキストとして使用するため、受講者は各自で準備し持参する。
上田喜敏編著：「セーフティケアの介護・看護」-腰痛を起こさない介助技術と福祉用具-
2020年7月15日発行 株式会社ヒューマン・ヘルスケア・システム 定価：2,000円+税
- 3) 何らかの警報が発令された場合や県からの事業自粛が出された場合、研修を延期または中止の可能性がります。その際には、当センターホームページでご案内します。また、受講決定通知を受け取られた方には別途ご連絡いたします。

令和7年度 腰痛予防研修 日程表

	時 間	内 容
1 日 目	8:40～ 9:20～ 9:30～12:00	受付開始 (2階研修室) オリエンテーション 講義 第1部「腰痛予防対策はケアの現状とリスク指針」 ・富山県腰痛予防対策推進事業研修ができた背景 ・介護・看護・リハのケア人間工学 ・日本のケアの腰痛状況 ・他産業とケア人間工学 ・日本の腰痛予防に関する法令、指針 ・エビデンスから (セーフティケアをする意味合い) ・具体的なケア セーフティケアプログラム
	12:00～13:00	休 憩
	13:00～ 16:30	第2部「エビデンスに基づいたケアテクノロジーとは」 ・リスク分析 (力の発揮・姿勢・頻度回数) ・安全な作業とは ・リスクアセスメント 実技:「立ち居振る舞」 ・基本の動き (かまえ・立ち方・重心移動) ・物の拾い方、物の持ち上げ、台車への積み込み、運び方 ・ベッド起居動作介助
2 日 目	9:00～	実技:「ベッド介助と起居介助」 ・スライディングシートを使用した介助方法 ・スライディングボードを使用した介助方法 ・リフト移乗における吊り具とスタンディングリフト
	12:00～13:00	休 憩
	13:00～ ～16:00	実技: ・今までの介助の問題点の理解 ・腰への負担の理解 ・安全な作業とは (転がす・滑らすこと) の理解と摩擦せん断力 ・従来の持ち上げが負担のかかっている事を実感する
講 師 ～介護・看護・リハの安全な介助のための～ 「安全なケア研究所」(S.C.L) 所長 上田 喜敏 氏 (元 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 教授 博士(工学))		

※当日は動きやすい服装・脱ぎ履きしやすい靴で参加してください。